

回覧

はつうま祭のお知らせ

来る三月二十一日（土）は境内におまつりしてあります福寿稲荷大神の「はつうま祭」でございます。今年の五穀豊穰、産業発展、商売繁盛、家内安全等をご祈願いたします。大神のご神徳をいただかれ、皆様益々ご繁栄されますようご祈念申し上げます。多数のお申し込みをお待ち申し上げます。

令和八年三月一日

加納天満宮宮司 林 康司

神社総代 殿

氏子総代 殿

氏子崇敬者殿

記

- 一、日 時 三月二十一日（土） 午前十時より午後四時まで
- 二、祈禱初穂料 三千元
- 三、祈禱の申込 黄色の祈禱券左側の祈禱申込書に、住所、氏名をご記入の上、祈禱初穂料を添えて、お申し込み下さい。祈禱申込書（御供物引換券）は社務所に用意してあります。尚、当日券は福寿稲荷神社受付でお申し出ください。

稲荷大神というのは、京都伏見稲荷神社の主祭神である「宇加之御魂神」うかのみたまのかみのことで、日本人の主食である米の生成をお守り下さる神、産業発展の神としてあつく信仰されています。

その昔、和銅四年（西暦七一年）の二月七日（初午の日）に稲荷の神様が、伏見稲荷の三ヶ峰に御出現になったといわれ、この日（旧の初午の日）を記念して、祭が行われるようになったと伝えられています。

赤い鳥居の赤は、豊年を象徴する色とされ、鳥居は通るといふ言葉に似ていることから、願いが通るといふ意味があるとされています。また、狐は稲荷大神の使いといわれています。

イナリとは「稲荷り」がなまったもので、稲が立派に実る様をいい、刈り取った稲の束を荷なつて神さまに捧げたところから「稲荷」の字が当てられたといわれています。

稲荷神社は、全国で三万社。代表的なものは京都伏見稲荷神社と佛教の守護神という豊川稲荷神社があります。

加納天満宮境内にまつられている福寿稲荷神社は、京都伏見稲荷神社のご分霊です。

№ 000636

御祈禱申込書

一、御祈禱初穂料 (金三千円)

申込者住所

氏名

№ 000636

三月二十一日(土)

午前十時より午後四時迄

当日限り雨天も実施

御供物引換券

加納 天満宮

福寿稲荷大神初午祭奉替



申込者住所

氏名

